

## 市民と市民会議との意見交流会（議事概要）

日時：9月6日（土）14：00～16：30

場所：グリーンホール 2階 大会議室

### 1. 開会

本日は「市民と市民会議との意見交流会」にご参加いただきありがとうございます。本日、司会を担当する市民会議の植山です。意見交換の進行役は吉田さんが担当します。要約筆記、手話をさせていただく方にも来ていただいています。

副代表の川端さんから趣旨等について説明します。

#### （副代表）

みなさんこんにちは。交流会によろそお集まりいただきました。箕面市の次期総合計画策定にあたり市民が作成した提言書がほぼまとまってまいりました。本日、交流会を開催し、皆さんからいただいたご意見を織り込み、最終提言書にしていきたいと考えています。昨年6月に市民会議が設立され、各種団体のみなさんにご意見をいただくなどして、検討を進めてきました。今年の3月には、中間報告に基づく市民との意見交流会を開催させていただきました。その後も検討を進め、本日の意見交流会に至った次第です。今月末には市長に提言書を提出する予定です。

提言書につきましては、行政において設置される策定委員会、総合計画審議会で活用され、次期総合計画案が策定されます。議会の議決を経て正式の総合計画となり、2011年（平成23年度）から動き出す予定です。

作成した資料には、「提言書」と「提言シート集」の2種類があります。提言シート集は、提言書をつくる基礎となったもので、6つの分科会が身近な課題を検討した成果です。

現在、パブリックコメントを実施しています。提言書の作成過程において、ご協力をいただいた団体の皆さんに提言書を説明するとともに、意見交流の場を別途設けています。このように多くの市民の皆さんからいただいたご意見を含めて最終的な提言書を作成する予定です。

ここで1つ私からのメッセージをお伝えしておきたいと考えております。この度の提言書の中には、箕面市の市民のニーズ、社会の変化に即応し、箕面の魅力をますます増やしていくための提言をしておりますが、同時に市民の皆さんがまちづくり参加しやすい制度を設けるようにという提言をしています。この交流会を手始めに、より一層多くの皆さんにまちづくりに参加していただきたいと思います。市民全部でまちづくりを進めていきたいと考えていますので、どうぞよろしくご協力をお願いしたいと思います。

それではこの提言書の説明をメンバーの田中さんをお願いします。

## 2. 次期総合計画策定に向けての提言書の発表

(略)

## 3. 意見交流会

(司会)

- ・ これより、意見交流会をはじめます。ご質問、ご意見をお願いします。

(参加者)

- ・ 子育ての問題ですが、先日、マンションのロビーで自転車を乗り回している子どもがいました。かつては、地域には怖いおじさん、おばさんがいました。そうした方たちが注意をすることで、先ほどのようなマナーのない子どもたちはいなかったように思います。ところが、最近は住民間の交流が希薄になってきていることから、マナーのない子どもたちが増えています。地域の大人たちが叱ることで、子どもたちも悪いことをしているという自覚ができてきます。家庭教育の問題もあると思います。また、小中学校での教育が十分でないので、ろくに敬語も使えない、社会常識をまったくわきまえていない若者がみられるようになってきています。子どもが注意されることに反発する親もいるでしょう。しかし、顔見知りであるかどうかに関わらず、子どもたちに対して注意すべきだと思います。ただし、子どもたちを叱ると逆に暴力をふるわれる可能性もあるからと注意を受けることもあります。そういったことにへこたれず、子どもたちが小さいときに注意をしていくべきだと思います。

(市民会議メンバー)

- ・ ご意見ありがとうございます。うちの子どもは、「地域の人に怒られた」と言って帰ってくることがあります。公園のアドプト活動で地域の方と交流しており、時には怒られて帰ってきます。地域の方とのふれあいは本当に大事だと思います。ありがとうございます。

(司会)

- ・ 市民会議の提言は、市民の目線で考え、気がついたことについて提言しています。素朴な内容ばかりだと思います。ご意見をお願いします。

(市民会議メンバー)

- ・ ただいまのご意見に関連するのですが、自治会のあり方について検討しました。組織率は54%となっています。新しく移り住んできた人が多いことから、なかなか自治会が

発展していかないように感じています。これをどう活性化していくかが課題だと思います。先ほどのマナーのない子どもたちの件ですが、日々の顔見知りの関係をつくっていくための地道な活動が必要だと思います。また、「お互いに注意しよう」「こういうケースは地域のこういうルールでこういうふうにしていこう」という合意体制を作っていくことが必要だと思います。このまま放っておいたら、住民が協力し合っていないかなければならない自主防災活動にも影響するように思います。このような地域の再生についても提言していきたいと思います。

(司会)

- ・ ありがとうございます。“住民主体”ということについては、実は箕面市の第1次総合計画の時から述べられています。今から50年くらい前から既に言われていることなのです。しかし、なかなかそれが実現されていないように感じています。今回初めて“住民自治”というものが浮かび上がってきているのではないかと考えています。今後の住民自治のあり方と、地域の自治組織がこれからの社会で大事になってくると思います。

(参加者)

- ・ 事前に提言書を見て、提言シートを含めて、なかなかよくできていると総合的に評価をしています。中でも、“総合計画策定の5つの視点”が提言書の冒頭に掲げられていますが、これを基本姿勢として取り組んでいくことが必要だと思います。従来からも市民主体が掲げられていますが、実際にそのようになっていたかというところ若干の疑問があるように思います。PDCAサイクルに関してですが、実行計画については毎年見直しをすることが必要だと思います。効果があると思って計画を立てても実際動き出してみると駄目であったということは起って当然のことです。民間企業では毎年数値を見直していくということは当たり前のことです。また、行政活動の評価については、現在は行政がしていますが、行政だけでなく第三者の目で評価するという仕組みをつくっていく必要があります。そうしたことについても提言でふれられているので良いと思います。提言書の内容が総合計画にも取り入れられて、実際の行動計画にも反映されれば良いと思います。最後に議会についてですが、総合計画には関係ないとの補足説明がありましたが、むしろこういう提言は積極的にされた方が良いと思います。

(参加者)

- ・ 箕面在住の大学4年生です。この会場を見渡してみても、若者の数が少ないように思います。これからの10年後、20年後の計画との説明がありましたが、10年後、20年後の主役は、私たち20代だと思います。若者がこのような勉強会にもっと参加すべきだと思いますが、なかなかそういった場に出会うチャンスがありません。若者の想像力と皆さんの知識を融合させて、箕面の未来に貢献できればと思います。

(市民会議メンバー)

- ・ ご意見ありがとうございます。私も息子がおりますが、何回も促さないで選挙にもいきません。若い人に政治的なことへの関心をどのように持ってもらうかということは非常に難しいと思います。

(市民会議メンバー)

- ・ 貴重なご意見だと思います。市民会議で1年半活動してきましたが、若い人の参加が少ないことについては私も一番気になっていました。市民会議のあり方も考える必要があります。たとえば、これまで平日に会合を開いてきましたが、若い人の参加を増やすためには会合のあり方も見直す必要があるかもしれません。会場を行政に借りることもあって土日に会合を開くことができません。そのため、詰めて議論すれば3日で片付くことも3ヶ月かかってしまうことがあります。提言書に書いていますが、新しいかたちで市民が参画していく会合を持っていかないといけないと思っています。

(市民会議メンバー)

- ・ 最初のころ参加していたのですが、最近、欠席していましたので、提言書について意見を述べたいと思います。かなり議論されて提言ができていると思いますが、このかたちだと、従来の総合計画とあまり変わらないように思います。例えば、地域コミュニティが元気になるということと、地域防災組織とは密な関係があると思います。1つ1つのメニューを実施していくことも必要ですが、従来から言われているように横断的な施策のあり方のようなものを提言書でうたっただけであればと思います。具体的な答えは今はないかもしれないけれども、そうしたことについてもふれていただければと思います。
- ・ 若者の参加については、地域コミュニティのあり方を考えていけば、地域で参加していただけるかもしれません。“ちえん”という言葉には、地域の“地縁”と、NPO等のような“知縁”とがあります。地域とNPO等が協力して取り組むことの必要性については従来から言われていることですが、コミュニティのことについて、地域とNPO等が連携して取り組んでいくようなことについても、提言書でふれていただければと思います。1つ1つの提案についてはわかりやすくなっているように思います。提出までの時間はあまりないかもしれませんが、付け加えていただければと思います。

(司会)

- ・ 非常に厳しく、ありがたいご意見をいただきました。

(市民会議メンバー)

- ・ ご発言の通りだと思います。地域コミュニティと子ども、自主防災については全てつながっています。従来のような縦割りの計画になってはいけないと思います。ご指摘の通り

だと思えます。まだ2週間ありますので、検討していきたいと思えます。

(参加者)

- ・ 本当にうまくまとめていただいております、すごいと思っております。議会についての提言がありましたが、皆さんの代表でありながら、議会が遠い存在であることについては申し訳ないと思っております。議会改革についてはこれからしっかり取り組んでいきますので、見ていただきたいと思えます。
- ・ 第4次の総合計画の策定に携わりましたが、“絵に描いた餅”になってしまいがちだと思えます。せっかく作っても、飾っているだけではもったいないと思えます。市長が変わる度に、総合計画が公約と整合しているかどうかを見直す自治体もあるようです。総合計画が、自分たちの上位計画であるということを浸透させることが大事だと思えます。
- ・ 市内には色々な分野のNPOが活動されているので、そうした方々も提言ができるように思えます。また、若い人の意見を取り入れるというご発言がありましたが、高校に出向いて高校生の意見を把握している自治体もあるようです。待っていても若い人は出てこないように思えます。事実を知ったら若い人たちも黙ってられないという気持ちにはなると思えます。大学や高校に出向いて説明し、若い人たちの意見を聞いていただくとよいと思えます。
- ・ 財政的なことに関しては、今ある財産をもっと活かすということをもっと考えていただければよかったと思えます。人・もの・施設をもっとつなげることで、もっと活かせることがあるのではないかと思えます。
- ・ 総合計画については、考え方や方向性が大事です。住民自治を大事にしていこうという方向性を打ち出されていてよいと思えます。うまくルールをつくっていただいて、提言の具体化にあたって、色々な人が参加できるようにしたり、チェックの場の仕組みをつくることについてもあわせて検討していただければと思えます。

(参加者)

- ・ 17 ページの「自治と協働の地域経営」を読みましたが、的を得た表現だと思えます。このような考え方を、第5次総合計画に反映していただきたいと思えます。第4次総合計画をみましたが、願望ばかりが書いてあるようにかんじました。第5次の総合計画では、「ありたい」など願望のような表現が入らないようにチェックしていただきたいと思えます。
- ・ P D C A サイクルについての説明がありましたが、実際の運用段階で、ともすればそれがなし崩しになってしまうことがあります。市民会議からも代表者が2名出られるようなお話がありましたが、運営段階でなし崩しにならないように、強力な人に運営に参加していただきたいと思えます。運営の段階に市民がどのように関わるのかがわかりにくいので、具体的にどう関わっていくべきなのかについてまとめてほしいと思えます。

- ・ 教育の問題ですが、大阪府の教育水準が低いという報道がありました。算面の結果が公表されるかどうかはわかりませんが、算面では実態として 35 人学級になっているようです。少人数学級についての提言がありますが、それにより、成果が上がるものでもないように思います。少人数学級にするとコストも上がります。少人数学級が教育の効果に現れるかどうかは疑問だと思います。また、小学校のホームページを見ましたが、各小学校で格差が出ているように感じました。校長先生や教員の頑張りが影響しているのかもしれませんが、学校により格差があるように思います。例えば、あいさつ運動に取り組んでいる学校では、あいさつを頑張ったり、校舎の壁にあいさつのポスターが貼ってあったりします。しかし、そういったことに全く取り組んでいない小学校もあるように思います。狭い箕面市なのですから、公立小学校の間で歩調をとっていただきたいと思います。

(参加者)

- ・ 総合的に提言書をまとめられているように思います。問題は、「提言がどう実行されていくか」ということだと思います。新しい市長が誕生しましたが、市長が掲げたマニフェストについてはどのように考えておられますか。市長に提言書について理解してもらうとともに、各部署におろしてもらうことが必要かと思います。また、行政だけに任しておけば良いというものでもないと思います。もっと、市民が小学校区単位でのコミュニティづくりや、自治会活動の中で取り組んでいく必要があります。行政が動くためには予算が必要ですので、議会の中にもよき理解者、推進者を得ることも必要だと思います。提言がお飾りとならないように、PDCAを誰がきちんと回していくのか、実行をチェックしているのかということが大事だと思います。例えば、道路整備において問題があるならばストップさせなくてはいけません。道路を整備したいという考えと環境を守るといった考えとが対立したときに市民がどのくらい関わっていけるのかということなど、1つ1つのことまで明らかにする必要があります。提言に書いてあっても、それを誰がするのかということが懸念されます。ごみ減量や雨水の活用は良い提言ですが、それを実行するためには予算が必要です。提言を実行にいたらしめるようなアクションをとられることも、この提言を作成した市民会議の皆さんには期待されます。例えば、小学校区単位でのコミュニティに予算をつけて、3年から5年間活動を続けていくなかでよい取組みがあれば、全ての地域でやろうということになってもよいと思います。議員のレベルももっと上がらなければなりません。どうすればよいのか具体的な方法はわかりませんが、そういったことについても是非取り組んでいただきたいと思います。

(司会)

- ・ 本当の市民の声が、貴重な意見が出たような気がします。現実の大きい課題です。

(市民会議メンバー)

- ・ 非常に貴重なご意見をありがとうございます。私どもも大きな問題だと認識しています。市民会議の役割は提言書を出した段階で終わります。この提言が実行されるためには、引き続き市民会議が働きかけていかないといけないという意識を強く持っています。市民会議の代表者が策定委員会と総合計画審議会に出ることになっているのですが、代表者をサポートする体制を作ろうということを市民会議で話し合っています。提言を実現していくために、市民会議が引き続き努力していかなくてはならないと思っています。
- ・ 市長のマニフェストを拝見しましたが、私たちの提言書と一致している点も沢山あるような印象を持ちました。もちろん、市長と意見が異なるところもあるかとは思いますが、市長のマニフェストと、私たちの提言で方向性が同じことについては、市長が取り組もうとされることを、市民会議としても大いにサポートしていかなくてはならないと思います。
- ・ また、自治基本条例やまちづくり市民会議などを提言していますが、こういった仕組みができていけば、市民が多くの場面でまちづくりに関わっていくことが可能となります。市民の皆さんも一緒になって、私たちと共に取り組んでいただければと思います。

(参加者)

- ・ 自治基本条例は、上手く機能すれば大変有効であると思いますが、選挙で選ばれているわけでもない市民が、市民の代表として市役所に対して色々と指図をすることで弊害が出ている自治体もあるようです。そうしたこともあって、自治基本条例を廃止してしまったところもあるようです。“市民参加”という言葉は良いですが、弊害があることも踏まえておく必要があります。自治基本条例を作れば全ての問題が解決してくれるようなことにはならないと思います。市民の力がレベルアップすることが必要です。役立っていない議員がいることも問題ですが、そうした議員を選挙で選んでいるといったこともあり、それは市民の風土の反映として受け入れないといけないのかもしれませんが。時間をかけて全体がレベルアップしていくことが必要です。市民会議としてここまでの提言をされたのだから、これを実行していく段階で、そういった問題まで広げた目配りが必要になってくるように思います。

(市民会議メンバー)

- ・ 貴重なご意見をありがとうございます。同感するところもたくさんありました。今後においても、行政や議会が基幹的な機能であることは間違いありません。私たちが信託した首長や議員を信頼していかなくてはなりません。行政も市民の声を聞こうと市民参画に取り組むようになって来ています。
- ・ そうした市民参画とともに、これからは住民による団体が、地域のことを考えて取り組

んでいくことが必要です。住民自治の考え方だと思います。地域単位での取組みと、目的別でのNPOや市民活動の取組みが連携していけば、行政、議会に対する1つの大きなエネルギーになるのではないかと考えています。こうしたことは一気にできるのではなく、長い時間をかけて構築していくことが必要です。全国の自治体の取組みを調査しましたが、こうした考え方は、他都市においても考えられていることで、的外れなことではないと思います。コミュニティに対して予算を配分するという取組みも柏原市や池田市が取り組んでいます。こうしたこともきちんと制度化していくことが必要です。東海市の方をお招きしてお話をうかがう機会がありましたが、市民会議が毎年まちづくりの進捗状況を把握して、市民に公表されています。提言の進捗状況をフォローする機関として、行政も存在を認めた組織として、今回提言している「まちづくり市民会議」が設置されればと思います。

(司会)

- ・ どうもありがとうございました。住民自治は非常に大事なテーマだと思います。

(市民会議メンバー)

- ・ エレベーターのないグリーンホールの会議室を会場に選んだことから、車椅子での来場者がおられれば、皆で協力して2階に上がってもらおうということになりました。電動車いすの利用者に声をかけましたが、人に協力してもらって2階に運び上げてもらうのは怖いということで参加を見送られました。電動車いすが主流になってきているなかで、エレベーターがない会場に、協力して運び上げるのは難しいことだと思いました。
- ・ 一方、今日こうやって参加された電動車いすの方は、「是非参加したい」ということでこられました。怖いという思いはあるけれども協力して運んでもらえることはうれしいとのことでした。障害者一人ひとりにいろいろな思いがありそれを大切にしていくことが必要です。バリアフリーについてもハード面での整備も必要ですが、みんなで協力するというソフトの面も必要です。ご本人に代わって代弁させていただきました。

(参加者)

- ・ 遅れてきたので発表は聞いてないのですが、市民活動センターで配布されていたので提言書は読んでいます。すごくいい提言書ができたと思います。最後に議会に対する提言もありました。今日こられていない議員の方にも渡していただきたいと思います。
- ・ 自治基本条例については、直接請求などにより市民からも提案することもできますので、検討していただければと思います。先ほどのご発言にもあったように、条例による弊害もありますので十分議論をしていただければと思います。



(市民会議メンバー)

- ・ 皆様ご存知の通り、箕面市ではまちづくり理念条例と市民参加条例が平成9年に制定されています。自治基本条例に近い理念は掲げられていますが、実態が伴っていないように感じています。ご発言があったように、自治基本条例ができたらどうこうなるということではありません。条例の趣旨に沿って、市民や行政、議員が行動することが必要だと思います。「まちづくり市民会議」を提言していますが、そうした機関が行政の諮問機関として設置され、市民主体で運営しまちづくりに対して提言をしていく、また、行政評価をしていくことができればと思います。1つのシンクタンクのように機能していくことができれば、市民の声が行政にさらに反映されていくのではないかと思います。

(市民会議メンバー)

- ・ 本日は色々な意見を聞かせていただきました。私は、市民活動センターの指定管理者である「市民活動フォーラムみのお」で活動しています。NPOに限らず、市民の人たちをもっと参加していけるように工夫していかなければいけないと感じました。特に若い人の意見は貴重だと思いますので、そういう人たちの意見を聞ける仕組みを作っていかなければならないと思います。

(司会)

- ・ 市民会議のアドバイザーである阿部さんがいられていますのが、最後に、ご助言をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

(アドバイザー)

- ・ 初めに教育についてのご意見がありました。家庭教育と学校教育の間に何があるのかと考えると“塾”があります。塾は、お金を払って、それに見合った教育を受けるという仕組みです。それとは別に、昔は、地域が子どもを育てるということがあったと思います。お金を介在させるのではなくて、地域の宝として子どもを育てていくことがこれから必要になっていくと思います。提言の重要なポイントであり共感します。
- ・ 実は、教育だけでなく他の分野でも同じことが言えます。行政と家庭の間でも、お金を払うことで色々なサービスを買うことができます。しかし、対価を払って買えるものとは別のものを生み出す仕組みが必要です。この提言書では“共助”という言葉で表現されているものです。この共助の仕組みをもっと分厚いものにしていかなくてはならないというのが今日の提言のポイントだと思います。それを誰が担うのかということ、市民が担っていかなければいけないのであって、それをきちんとやっというのが提言の核になる発想だと思います。これまでの総合計画と何が違うのかということ、行政と市民との間に分厚い共助の仕組みを作っということだと思います。共助の仕組みを今後のまちづくりで活かしていくことが大事だと思います。

- ・ 総合計画にしる、自治基本条例にしる、紙に書いたものは“絵に描いた餅”になってしまいやすいものです。紙に書いたものを形骸化させないためには絶えず工夫が必要になります。これまでの反省をすると、文字化した後に、形骸化させないための工夫が十分でなかったように思います。形骸化させないための仕掛けの一つが「まちづくり市民会議」だと思います。結局何が大事かというと、市民が市民として成熟していくということです。これまでの、日本の市民というのは、私という字を書いた“私民”であったように思います。自分の利益を主張するために市役所に行くというのがこれまでの普通の行動であったように思います。しかし、これからは、私を超えて公に積極的に関わっていくことが求められます。若い人を含めて、市民が市民として成熟していかなければ、まちは上手くいかないと思います。みんなで力を合わせていかに市民として成熟していくかということが、総合計画を意味のあるものとしていくために必要だと思います。今回、提言書作成に関わった皆さんは、提言書作成の過程で市民として成熟度を深められたように思います。このような機会を増やしていくことによって、より多くの箕面市民が市民として成熟していくことが、いいまちをつくっていくのだと思います。市民会議の取組みは、市民が市民として成熟していくための1つのステップになったように思います。今後、総合計画の策定に関わっていく予定です。本日はどうもありがとうございました。

#### 4. 閉会

##### (司会)

- ・ 貴重なご意見をありがとうございました。50年前の第1次総合計画で書かれてあった“市民参画”の1ページ目が、ようやく今日めくられて、大きな課題と宿題が出てきたように感じています。“市民参画”の階段を、今後どのように一段一段と上がっていくかということが大事になってくると思います。

##### (副代表)

- ・ 本日は、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。皆さんのご意見を踏まえまして、私達の提言書をしっかりしたものにしていきたいと思っています。今日意見が出せなかった。あるいは、もっと考えたらもっといい意見があったという方がおられましたら、お手元に配布させていただいている用紙にご記入いただければ幸いです。パブリックコメントは16日まで受付ております。ご意見をいただくことにより、提言書が益々立派なものになっていくものと期待しております。本日はありがとうございました。